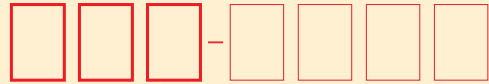




文月 齊 (ふみつき さい)
 埼玉県出身。
 人と街、自然と文化を題材に、
 みちくさばかりの旅を続ける
 エッセイスト。
 函館、埼玉、大阪を拠点に
 旅を満喫中。



善頭エッセイ

はこだて旅便い

「今日もぷらぷら」

105

「残暑を凌ぐ納涼のウラ技」

前略、変わりはないか？
 いやはや、ようやく梅雨が明けたと思ったら、スタートの遅れを取り戻すかのような暑い日が続いているね。なんでも今年は、夏の日本を覆う高気圧の上に、大陸からの高気圧が重なった。二階建高気圧。なんて現象に見舞われているんだって。マンションだけでなく、空の上でも高層化が流行っているみたいだけど、ちゃんこエアコンも完備して欲しいんだね。こちら函館も8月のお盆あたりから夏らしい晴れた日が戻ってきて、観光地でもささやかながら旅行者の姿を見かけるようになってきたよ。先日旅行会社の観光バスを見かけたし、制服姿で訪れている修学旅行生の姿もあったよ。半年以上見ていなかった光景が妙に新鮮で、思わず立ち止まって写真を撮ってしまった。流行り病の勢いは相変わらずだけど、早く見慣れた光景が戻るというね。

北海道「大自然」というイメージが強いのか、今年は自然の中に身を置く旅人の姿を目にする機会が多いね。とくに「密」が避けにくい都会の人は、思い切り新鮮な空気を味わいたいらしく、函館山を歩いて登る旅人の数も随分と多くなった。ただ、情報が錯綜しているのだらう、先日、やたらと大きな音で音楽を流しながら歩いている若者たちと行き違ったけど、クマよけのためだなんて言ってたよ。函館山にはヒグマどころかエゾシカもいないよと教えてあげると意外そうな顔をしてたわけ。全国でクマと遭遇したニュースが流れているので、函館山にもいると思っただろうね。まあ、用心に越したことはない。あれだけ慎重なら、他の山に行ってもクマと遭遇する確率はぐっと少なくなるだろう。

自粛生活で人出が鈍っていることが影響しているのか、今年は函館山以外の山で、例年にないくらいにヒグマの気配を感じているよ。春に訪れた台場山ではぬかるんだ登山道に一つだけ大きなクマの足跡があったけど、あれはつい今さき歩いたような足跡だったなあ。以前年配の猟師から、ヒグマは自分の存在を伝えるためわざと分りやすいところに足跡を残すって聞いたことがあるんだけど、まさに警告の意味を含めたものだったね。登山道の前後にはまったく足跡がないのに、くっきりとひとつだけ分かるように足跡が残ってるんだ。道の向きよりも少し斜めを向いていたところを見ると、どうやら藪の中から登山道を横切るように移動したらしく、すぐ近くに潜んでいるんじゃないかと思うとぞっとしたね。猟師に聞いた話では、クマの足跡を辿っていくと途中でパタリと足跡が消えることがあるそうなんだ。「とび足」といって、クマが後を尾けられないようにジャンプしてルートを変えてしまうんだって。茂みに潜んで、しつこく追ってくる人間に襲いかかることもあるので、そういうときには背中を見せずにゆっくりと後退するんだってさ。

そんなことがあったこともすっかり忘れて、先日、松前町と上ノ国町の境にある大千軒岳に行ってきた。その昔、106人のキリシタンが処刑された悲しい歴史を持つ地で、一度訪れてみたいと思っていた山なんだ。倒木のためずっと閉鎖されていた林道がこの春に再整備され、登山口まで車で行けるようになったんだけど、僕の住む函館市街から車で片道3時間半最後の1時間は未舗装のハードな道を進むものだから、登山を始める前からぐったりしちゃったよ。

それでも歩き始めると、不思議と力が湧いてきて、無事に山頂までたどり着くことができた。山頂手前には殉職したキリシタンの慰霊塔のかな、十字架が建っているんだけど、あたり一面に高山植物が咲き誇る天然のお花畑になっていて、濃い霧が立ち込めた光景を見て天国にでもやってきたのかと思っちゃったよ。幻想的だし、涼しいし、残暑の厳しい町で暮らす君を連れて行ってあげたいと思うけど、ヒグマがねえ。いやね、僕より10分遅れてきた人が、途中でクマに会ったと興奮して話していたんだよ。うーん、もしかしたらニアミスだったと知ってゾゾ。涼を求めるにはある意味いいかもね。それじゃあまた。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索